



議会だより な お し ま

2020
No. 193
令和2年10月9日

発行●香川県直島町議会
編集●広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



(みんなで楽しく修学旅行)

- 小さい島を大きく美しく実のなる島へ(事務報告) …… 2～4 P
- 限られた財源で最大の効果を(監査報告) …… 5 P
- コロナ対策強化を(6人が一般質問) …… 8～10 P
- なごみの看板を目立つように(あれ、どなたとん!) …… 13 P
- ともだち100人くらいできました(U・Iターン者に聞く) …… 14 P

美しく 島へ

(9月定例会)

令和元年度 一般会計決算 (歳出) 40億9959万円

令和2年第4回定例会が9月8日から15日までの会期で開催されました。

令和元年度の事務報告や一般会計・特別会計及び簡易水道事業会計の決算について慎重に審議し、全員賛成で認定しました。

一般質問には6人が町政に対する考えを質問しました。

令和2年度補正予算や、報告2件、14議案をすべて全員賛成で議決し、14日に閉会しました。

事務報告 (抜粋)

令和元年度の一般会計は、依然として公債費が高い水準で推移していることや、社会保障関係費用の自然増、また既存の公共施設の維持改修や更新費用により、大幅な財源不足が懸念されるところであります。

また、三菱マテリアルを中心に環境産業や環境活動、文化活動や水産業をはじめとした地場産業の育成など多角的経営基盤の確立を図り、海の駅を拠点とした観光・商業のさらなる振興に結びつけ「小さい島を大きく美しく 実のなる島へ」を目標に掲げ、各種事業の推進に努力しました。

今後、コロナ感染症が町民生活や町内事業者へ与える影響について、注視していく必要があると考えています。

主な質疑

新しい物はあるか

Q

(西岡) 直島応援寄附金で特産品など記念品を充実とあるが、記念品は新しい物があるのか。

A

(まちづくり観光課長) 元年度は新しい物はなかった。2年度は新しい物もいくつかできた。



赤かぼちゃのオブジェ



人気 No.1

具体的な業務展開は

Q

(宮原) 空き家・空き地対策のマスタープラン構築業務を行ったとあるが、具体的な業務展開は。

A

(町長) 少子高齢化、人口減少にともない空き家・空き地が増加傾向にあり、空き家を減らし、利用可能な不動産を増やし、移住者の助けとなることだ。

給食サービスは

Q

(松島) 社会福祉協議会の給食サービスは、増やすことはできないか。

A

(町長) マンパワーが必要だ。今後、



大いににぎわった瀬戸芸 2019

社会福祉協議会と検討したい。

新規治療薬は何

Q

(西岡) 診療事業について、新規治療薬の導入とあるが何か。

A

(診療所事務長) 新規治療薬とは、骨粗しょう症に対応するイベニティ注射を追加した。

段差が危険だ

Q

(小野) 道路のマンホールに段差があり、バイク・自転車は危険だ。何とかならないか。

A

(町長) 順次対応していく。



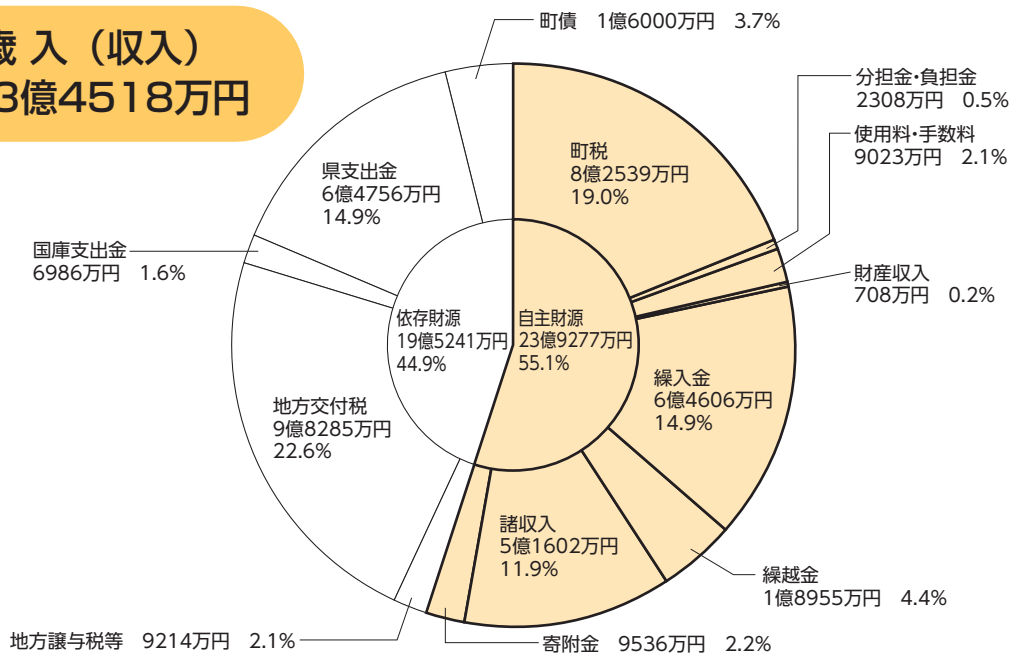
段差が危険

4ページ目へ

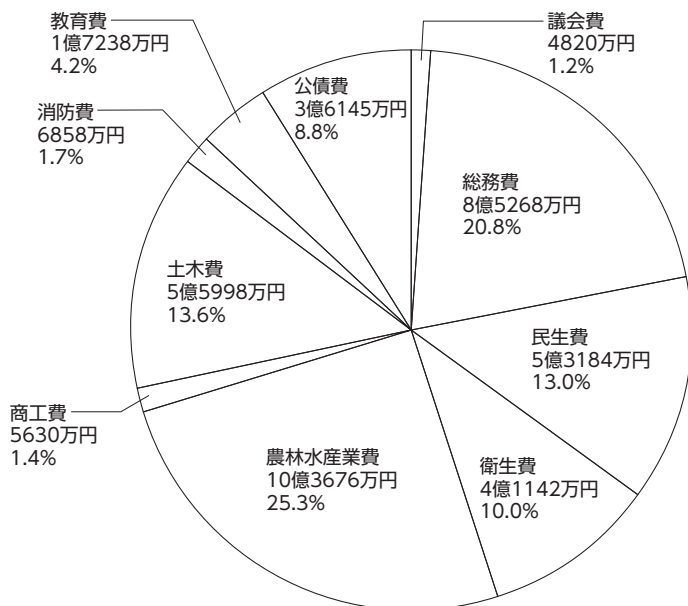
小さい島を大きく 実のなる

令和元年度一般会計歳入歳出構成図

歳入（収入）
43億4518万円



歳出（支出）
40億9959万円



(グラフの数字は万円単位にしていますので合計が一致しないことがあります)

こんな事業に使いました

総	ふるさと納税返礼品	2909万円
民	福祉センター改修工事	1781万円
総	文教地区集会所解体工事	539万円
教	幼児学園エアコン設置工事	2254万円
土	宮ノ浦地区地震津波対策工事	3089万円
教	給食センターエアコン設置工事	679万円
農	つり公園落石防止対策工事	281万円
商	ふるさと海の家改修工事	424万円
商	瀬戸芸直島町実行委員会	147万円
土	町道本村5号線道路改良工事	833万円
土	横防地区急傾斜地崩壊防止工事	2004万円
土	町営住宅ブロック塀取替工事	1978万円

〔主な質疑〕

検討し改革を

事務報告つぎ

雑木の伐採を

Q (小野) 県道山側の雑木が茂り道路にはみ出し、大型車に当たっている。伐採整備しては。

A (町長) 車の通行に支障があれば枝の伐採なども考える。

庁舎内だけか

Q (小野) 物品販売で、町史・直島建



道路にはみ出し危険

一般会計

町債の借入れ
内容は

Q (山上) 町債の借入れ先と利率・償還期間は。

A (総務課長) 財政融資資金で、臨時財政対策債の利率は0.008%、過疎対策債は0.005%。償還期間は10年になっている。(町長) 臨時財政対策債は20年だ。

地域防災力
支援とは

Q (西岡) 地域防災力重点分野支援事業の内容は。

A (総務課長) 積載車1台・ポンプ2台・ホース等の購入で、補助率は1/2だ。



消防ポンプ

築・なおしま紹介DVDなどがあるが、これは庁舎内だけで販売しているのか。

A (町長) 今は庁舎内だけだ。

Q (小野) 観光協会など何力所かで販売しては。

A (町長) 観光協会などと協議したい。(総務課長) 以前は海の駅などで販売したが、あまり売れずやめた。また検討したい。



消防積載車

どんな事業に
補助

Q (山下) 教育振興費の各種事業等補助の内容は。

A (教育次長) いきいき青年活動・高校生部活動・高校生通学航路費・少年スポーツ活動等に補助している。

算入額は
どのくらい

Q (山上) 公債費で普通交付税の事業費補正として算入された額は。

A (総務課長) 2億7733万1000円だ。

何か事業を
考えては

Q (松島) 県内の他町では、ひまわりを栽培し油を精製したり、焼酎を造る等独自の事業展開を実施している。

当町もこれから、何か独自の事業を考えるべきではないか。

A (町長) 多額のお金が必要となるので、償還金を返済すれば、事業もできる。ここ何年かは辛抱の時だ。ただ、やらなければいけないこ



販売増を目指せ

事務事業の費用対効果を十分

とはやっつけていく。

「おのへんが利用」

Q (小野) 老人のバス利用助成は、どのくらいの方が利用しているのか。

A (住民福祉課長) 対象者は75歳以上で637人、配布数が549冊、配布人数が193人、10冊以上配布した人が7人。



老人無料バス券

特別会計

（診療所事業）
繰入額減らす
対策は

Q (宮原) 一般会計から1億2000万円ほど、繰入れている。減らす対策は。

A (町長) 24時間365日の救急体制をとっている。これらを止めることはできない。診療所として努力している。

（何のリース料）

Q (西岡) 医業費のリース料は何か。
A (診療所事務長) 主に人工呼吸器のリース料だ。

討論

一般会計

賛成 (浜口) 税の徴収率は、現年度は職員の努力もあり、非常に高い。公平性を確保するため滞納整理についても努力するよう要望する。

賛成 (山上) 経常収支比率が90%を超えた。財政の硬直化が進んでいる。持続可能な財政運営のために、費用

対効果を十分に検討し、改革するよう要望する。

特別会計

診療所事業

賛成 (浜口)

毎年、多額の繰入金で運営している。ショートステイについては、施設のリフォーム等により、入所者増にできる可能性はあると思う。医師・看護師の安定確保とサービスの向上等、健全な財政運営に努力するよう要望する。

宅地造成事業

賛成 (浜口)

この事業が人口減少の抑制と、移住・定住の促進につながるよう、制度のPRを十分に行い、完売に向けて努力するよう要望する。

監査報告

“限られた財源で最大の効果を”

監査委員 大林 清
// 小野 孝一

〔主な指摘事項〕

《一般会計》 先行きが不透明な中で、難しい財政運営ではあるが、国や県等の財政状況に留意し、創意と工夫を凝らした行財政運営を望む。

《特別会計》 (国民健康保険事業) 保険税の滞納は、前年度より減少しているが、引き続き滞納額をなくすよう取り組みの強化をお願いする。

(介護保険事業) 今後ますますの高齢化社会の進展に伴い、制度改革が頻繁に行われることが予想され、計画的な事務事業の実施が困難な状況だが、事業の適正な運営に努めるよう望む。

(下水道事業) 一般会計からの繰入金が大き比重を占めているので、供用開始区域の水洗化率の向上を図るとともに、使用料の滞納額の完納と健全な財政運営を望む。

(宅地造成事業) 恒久的な人口減少の抑制と移住・定住の促進が図られるよう、制度の周知を十分に行い、適正かつ円滑な運営に努めるよう望む。

《簡易水道事業会計》 本年度は、屏風島が簡易水道事業の給水区域に追加された。また、耐震管の布設が開始され、老朽管の布設替え等を計画的に実施していく予定となっている。住民生活に必要な水の安定供給及び効率的な経営を推進し、料金の適正化、収入の確保等を適宜見直し、なお一層の経営健全化を望む。



小林町長

町民が
お世話に
なっている

診療所への 協力の話は

(主なもの)

- 6月11日 観光協会総会が役場で開催されました。
- 6月16日 社会福祉協議会理事会が福祉センター応接室で開催されました。
- 6月22日 笠岡市長が来庁され、本町と瀬戸内国際芸術祭関係の説明を申し上げました。
- 6月26日 戦没者追悼式が福祉センター劇場ホールで執り行われました。
- 7月10日 玉野市・直島町情報交換会が玉野市役所で開催されました。
- 7月27日 まち・ひと・しごと創生推進会議が役場で開催されました。
- 7月28日 瀬戸内国際芸術祭実行委員会総会がレクザムホールで開催されました。
- 7月31日 岡山旭東病院長が就任挨拶のため来庁されました。
- 8月8日～16日 お盆の繁忙期対策等を実施しました。

主な質疑

来庁の目的は



Q (小野) 笠岡市長が来庁されているが、他の島にも行かれたのか。

また、どんな目的で来られたのか。



A (町長) 他のところには行っていないとのこと。また、本来の目的は、石の産地の北木島を瀬戸芸に入れてもらいたいということだ。

具体的な話は



Q (山下) 玉野市・直島町情報交換会

で、玉野市ではなくコロナ感染者が出ていて、その感染者の個人情報扱いやどの辺まで周知をするのかといった具体的な話はあったのか。



A (町長) 具体的な話はなかった。

診療所に協力の話は



Q (浜口) 岡山旭東病院長が就任挨拶



昨年のにぎわい

のため来庁されたが、今までに来られたことはあるのか。また、診療所に何か協力の話はあったか。



A (町長) 院長は以前にも来られていたと聞いている。また、診療所の応援とかの話はなかったが、旭東病院には町民がお世話になっていることから、お礼を申し上げた。

お盆の対策、具体的に



Q (宮原) お盆の繁忙期対策、具体的に説明を。



A (まちづくり観光課長) お盆の13日から15日の間で、来島者は、今年度が2017人、昨年度は瀬戸芸の年で4052人、平成30年度は、6555人であった。今の

年も一応臨時バスを出したが満車になることはなかった。

職権乱用ではないか



Q (松島) 7月20日の臨時議会はコロナ対策で、観光事業者等に一律30万円を支給する補正予算が議題だった。議会の冒頭、町民に一言があつてしかるべきと思うが。

また、広報なおしま「町長の一言・三言」での発言は、県内全市町に配布されることからちよつと残念だ。職権乱用ではないかと認識した。これらについて町長の考えは。



A (町長) 臨時議会で一言発言しなかったのは、今までに補正予算だけの臨時議会で冒頭で発言したことはないからだ。また、広報なおしまでの職権乱用については、この後の一般質問で出てくることから、答弁を差し控える。



鳴井教育長

予定どおり
回復させた

1学期の学習課程 取り戻せたか

(主なもの)

- 6月2日 讃岐地区教育長会が開催され、新型コロナ対策に対する危機感の学校間格差などについて協議しました。
- 6月17日 教育委員会定例会が開催され、夏期休業中の小中学校の振替授業日の予定などについて協議しました。
- 7月1日 讃岐地区教育長会が開催され、小中学校の修学旅行の取り組みなどを協議しました。
- 7月2日 中学校で、令和2年度文科省教育課程特例校としての英語の研究授業がありました。
- 7月16日 人権・同和教育推進協議会及び差別をなくし、人権を擁護する審議会が開催されました。
- 8月1日 わんぱく寺子屋が小学校南庭や中学校体育館周辺を会場にして開催されました。

主な質疑

学校・学級間格差とは

Q

(山上) 新型コロナウイルス感染症に対する学校・学級間の危機感の格差とは。

A

(教育長) 当町にはないが、大きな町には大小の学校があり、校長のコロナに対する危機感が十分教職員に浸透していなかったり、学年主任の指導が行き届いていない場合がある。

夏休みの短縮で

Q

(西岡) 夏休みの短縮により、1学期の学習課程を取り戻すことはできたか。

A

(教育長) 先生方が適切な課題を与える等、効率よく学習を進める工夫をして、予定どおりの学習進度まで回復させている。

文化祭の開催は

Q

(宮原) 代表者会の結果、文化祭は

開催することになったのか。

A

(教育長) 参加団体の了承を得たので、開催することに決定した。

静かなる学級崩壊とは

Q

(中根) 東部教育長会で示達のあった「静かなる学級崩壊」とはどういうことか。

A

(教育長) 先生の指導や指示に対して、児童生徒が何のリアクションもなくやり取りできないという現象だ。直島の学校現場では、適切な授業が展開されている。

コロナ差別への取り組みは

Q

(山上) 現在、コロナ関連のハラスメントが大きな問題となっている。当町の取り組みは。

A

(教育長) コロナに対する差別偏見への配慮が大きな課題だ。どんな理由があっても、差別偏見があっては

ならない。基本的な人権は憲法で保障されている。

直島では幼小中の先生方がきちんと指導しており、連携した学校経営ができています。

サーバントリーダーシップとは

Q

(西岡) 教育委員会定例会の議題となった「サーバントリーダーシップ」とは。

A

(教育長) 組織運営やマネジメントの変化により、指示・命令・管理中心の考えから、自立を支援し、自ら考えて行動させる教育を推し進めることだ。これを教育現場に置き換えて実行していく指導を考えている。

修学旅行はどうする

Q

(西岡) 小中学校の修学旅行の予定はどうなっているか。

A

(教育長) 中学校は9月15・16日で、県内を対象に1泊2日の旅行を計画している。金毘羅の金丸座、宇多津の四国水族館、塩江に一泊し、翌日レオマワールドを見学する予定。小学校は11月25日・26日、日帰り1泊2日のコース案で検討中だ。



中学3年の思い出ができた

問

質問者の責任において作成しています

一般質問



カウンターに アクリル板を

〔町長〕 もっといい方法を検討



山上 議員

コロナの感染状況は、第2波の到来が現実となり、多くの町民から、いまだに「どうして役場のカウンターにはアクリル板などの設置をしないのか」という声が多くある。コロナ感染症は「飛沫感染」と「接触感染」で感染するとされており、5分間の会話で飛ぶ飛沫は1回の咳と同じくらい（約3000個）であり、窓口対応業務は感染リスクが極めて高い空間であると言われている。

この飛沫感染を防ぐ対策として、国の専門家会議は「人と人が対面する場所は、アクリル板・透明ビニールカーテンなどで遮蔽する」という対策が効果的であるとしている。現状の噴霧器は、一定の除菌効果はあると思われるが、窓口対応での飛沫防止効果は乏しいと考える。

また、仮に職員から感染者が出た場合、どういった対策を庁舎内で講じていたかが大事になってくる。

これらの点から再度設

置の考え方を伺う。

A (町長) 一般的に新型コロナウイルスに感染するのは「飛沫感染」「接触感染」と言われているが、最近では「空気感染」も否定できないとの発表があった。このウイルスの性質も徐々に解明されつつあるが、まだまだ不明部分も多くあり、アクリル板等では、くしゃみはそれを超え、高すぎると滞留するという調査も出ている。

職員と来庁者とのやり取りはカウンターだけでなく、ロビーでの対応等も度々あり、様々なケースに対応するために超音波噴霧器による空間除菌を採用している。

Q 県内の6つの町に問い合わせをしたところ、すべての庁舎でアクリル板等による飛沫防止対策を4月から実施しており、一部の町では職員のデスク間にもアクリル板等を設置すると聞いている。

現状の空気清浄機と併せてアクリル板等を設置すれば、もっと町民の方

リーダーシップに期待

〔町長〕 全身全霊で推進



山下 議員

も安心して来庁できると考えるが。

A (町長) 現状がベストだと思っていないが、もっといい方法があれば検討していく。

(山上) これだけ無症状の感染者が出ている中、できる対策はすべてやるべきだ。

飛沫防止対策にはアクリル板等の設置が最善の対策である。再度設置を要望する。

6月定例会はコロナ議会とも言われ、多くの町民が傍聴に来られた。

「傍聴記を書いたらおう」と声上がり、その場におられた方々に声をかけた。決して故意に集めたわけではない。

内容は、厳しい意見があったが、町長に寄せる期待も書かれていた。

町長はこの記事をバネに、さらなる前進・リーダーシップを発揮すると信じて掲載に賛成した。

「議会と町は車の両輪。舵とりは町民」との町長の言葉を忘れていない。

今後とも町民と議会と共

に前進することを期待している。現在の気持ちで問う。

A (町長) 6月議会にはコロナ禍において、観光事業者にとって重要な関心事であったことは間違いないと思う。

「議会と町は車の両輪。舵とりは町民」との思いは、町長就任時から少しも変わっていない。門戸はいつでも開けている。

「前進・リーダーシップ」については引き続き、町行政の推進に全身全霊で頑張っていきたい。

傍聴記の内容は貴重な意見として、大事に心にとめるべきだ。

しかし、実名公表から匿名記述にしたことで公平性・透明性が著しく欠け、意見が台無しになるとの思いから町広報に書いた。また、議会だよりで疑問に思うことがあり、私が感じた理由を町民に知らせた次第だ。

「議会と町は車の両輪。舵とりは町民」との思いは、町長就任時から少しも変わっていない。門戸はいつでも開けている。

「前進・リーダーシップ」については引き続き、町行政の推進に全身全霊で頑張っていきたい。



意見がくい違うそれぞれの広報紙

町長に



浜口 議員

マスク着用など 水際対策を

〔町長〕 船会社と協議

4月16日、議会からコロナ感染防止対策で不要不急の渡島自粛要請と水際対策の徹底について要望している。

現在、観光客は半数と
いっていいほどマスク未
着用。船内でもマスクを
せずに大きな声で密の状
態。「マスクをしていな
い方は乗船できません」
くらいの対応はすべき
だ。県内外の離島では
でに実施している。

また、8月8日、感染
者が宇野から宮浦港經由
で高松に帰省したとい
う情報。何時の便を利用
したか等、町からの情報
がないので、住民から不
安の声が上がっている。

町長コラムに、感染防
止対策と経済活動の両立
には「オール直島」体制
が必要と書いている。第
2波・第3波への具体策
を考えているか。

A (町長) 観光客だ
けでなく、町外か
らの通勤者もいるため直
島に来てくれるなどは言
えない。法の制限上の限
界もある。

今は船会社の予防対策

と、チラシとのほりによ
る啓発を行っていく。
感染者の情報は、我々
も新聞を見て知った。町
民に濃厚接触者はいない
と県から聞いた。万一感
染者が出た場合は、県の
指示のもと町民に正確な
情報を速やかに提供する
のが町の役割。

Q 乗船時、マスク
の着用をお願いす
るのは違法ではない。乗
船拒否は無理でも、プラ
カードで「必ずマスクを
してください」とお願い
はできる。

A (町長) 誰がやる
のかの問題もあ
り、船会社と協議する。

町長の過激発言が心配

町長はコラムの中で、
「7月議会だよりは町当
局に対する批判攻撃、世
論を誘導するために意図
的に編集、町当局への信
頼失墜を企て、それを攻
撃材料に政治的に利用、
観光事業者全体が悪いイ
メージとなり、お互いが
いがみ合うなど混乱の発
生を危惧する」等、町長
の過激とも思える言葉が

かえって町内の混乱をあ
おる結果にならないかと
反対に心配するが。

(町長) そのよう
な考えはない。
要望書の中に、
町と議会が情報を
共有し、連携を密にする
体制を整備することあり、
ぜひ体制づくりをお
願いたい。

Q (町長) 議会と行
政サイドに認識の
相違がある。情報管理、
特に個人情報については
極めて慎重であり、議会
との情報共有は大変難し
い。

A (町長) 議会と行
政サイドに認識の
相違がある。情報管理、
特に個人情報については
極めて慎重であり、議会
との情報共有は大変難し
い。

Q 議会から要望書
提出時に、口頭で
説明したとあるが、雑談
の中であって議会への説
明とは受け取れない。

A (町長) 正副議長
は代表者。雑談と
いっても加味してほしい。
見解の相違があ
る。「オール直島」
には、なによりも議会と
の連携が重要だと思いが
強い。

Q (町長) 私は一度
も議会軽視をして
いない。話し合いは必要
と思っている。

現在、観光客はフリー
パスで乗船し来島してい
るが、乗船券を購入する
ときに検温することがで
きると思う。その結果
37・5度以上あった客に
乗船拒否はできるのか。
できない場合に町でその
ようなルールを作っては
どうか。それができれば
町民も安心するし、安全
な町になると思うが。

検温の実施を

〔町長〕 投げかけはしたい



中根 議員



A (町長) 乗船前
の検温となると全員
を対象としなければなら
ず、混雑することとなり
大変難しいと思う。また、
町での乗船拒否のルール
づくりについては、国や
県において移動自粛の要
請のみで、個人の人權を
尊重することとなってい
るため、条例等での規制
は法的にも難しいと考
える。

Q この旨の要望が
町民から出ている。
四国汽船との協議を
要望する。

A (町長) 四国汽船
にこういう話が出
たと投げかけはしてみた
い。



宮原 議員

名誉棄損罪は成立するか

〔町長〕 ノーコメント

① 飲食業・宿泊業など観光事業者等へ一律30万円給付事業の8月末現在の進捗状況について。
② 対象者へ申請書類を送った件数、受付件数、給付済み件数は。
③ 郵送者以外からの申請はあったか。
④ 広報なおしまやチラシで周知をしたか。

A (町長) ⑦ 郵送件数は95件、受付件数77件、給付済み件数72件。

① 申請はなかった。
② 広報紙などではしていない。

Q 町民から今回の給付事業は誰が決めたのか問われ、町長と議会が決定したと回答した。

また、この事業を広く町民に周知すべきでないかと言われた。広報紙、チラシで周知すべきでは。

A (町長) すべて調べたのでタブレット放送のみで行った。

Q ② 広報なおしまの町長コラムで、議

会だよりの批評はきわめて感情的であった。町長は7月15日の議員協議会で、議会だよりの傍聴記は誹謗中傷であり、議会の総責任者などの告訴を考えると言った。

名誉棄損罪は成立すると思われるかお聞きする。私は刑法 二三〇条の二で該当しないと思うが。

A (町長) 町長コラムは決して感情的に書いていない。名誉棄損罪の告訴については弁護士に相談し、名誉棄損罪に当たるならば告訴することも考えると発言した。

つまり、名誉棄損罪が成立するか否かは弁護士に相談した結果になる。

Q 議員協議会からだいが経っているが、弁護士に相談されていないのか。

A (町長) それについては答弁を差し控える。

(弁護士との相談の有無について明らかにしないことから、名誉棄損罪の該当についても明らかにしないことになり、名誉棄損罪について議論はできなかった。)

(宮原) 名誉棄損罪の議論は重要だが、それよりもコロナ禍で町長と議会とが一致団結し、全力を尽くすことが大切だ。町長は選挙公約で町長と議会とは車の両輪であると言った。その大切な両輪を再認識されることを提言した。

※名誉棄損罪 二三〇条、二三〇条の二

名誉棄損罪は 刑法二三〇条に規定されていて、本ケースに当てはめると傍聴記が事実を摘示し、町長の名誉を棄損することです。その名誉棄損罪の成立を否定する規定が二三〇条の二です。この規定は公務員を広く監視下に置き、その公務員にかかる事実(傍聴記)が真実であれば名誉棄損罪の成立を否定する規定です。

町内道路の危険と思われる箇所にカーブミラーを設置している。しかしダム周辺や、幼児学園上の広場からの出口など、危険な箇所が存在する。

カーブミラー増設を

〔町長〕 可能であれば設置したい



西岡 議員

整備を要望する。

A (町長) 町が設置しているカーブミラーが26基ある。確かに見通しの悪いカーブなど、十分な安全確認ができないところも見受けられる。

危険を回避するには、ダム周辺の道では速度を落として目視及び警笛で安全確認をしてもらおうことが交通事故防止策と考えている。

横防から、つつじ荘までの県道は、県が危険箇所にカーブミラーを設置しているが、設置当時と違った状況もあるので、県と協議する。

また幼児学園上の広場横の生け垣だが、現地確認をしたうえで可能であれば設置したい。

また、既設のカーブミラーも、枝葉や鏡面が曇っているため見えづらなものがある。

町民の安心安全のためにもカーブミラーの増設や、既設のカーブミラーのメンテナンスと周囲の



危険箇所にミラーを

委員会レポート

総務・文教

山上 委員長

ふれあい通信 タブレットを新しくします

〔総務課〕

ふれあい通信タブレットを交換します

Q タブレットの交換時期と方法は。

A 現在の8インチから10インチのものに交換する。時期は9月から実施し、郵便局にお願いし各戸に届け回収する予定。

新型コロナウイルスの直島での行動歴について



8インチから10インチへ

〔総務課長〕

香川県の感染者が宇野から高松に行く途中に直島に立ち寄ったことは、町としても新聞報道で知った。その後保健所に問い合わせをしたところ、

ろ、濃厚接触者はいないとの確認を得た。

〔委員より〕

今回の件は、町は可能な範囲で、町民に周知すべきだったのではないかと。

特別定額給付金

受付期間

5月13日～8月12日
対象者 3086人
給付者数 3083人

〔まちづくり観光課〕

お盆の来島者数

Q お盆期間の来島者数は。

A 8月8日から16日までの9日間で5211人。

昨年 19079人
一昨年 16913人

町営バスの事故報告

〔まちづくり観光課長〕

7月26日 垂水海岸上の道路にて、運転手の体調不良による自損事故があった。幸い乗客にケガはなかった。今後十分注意して運行する。

〔教育委員会〕

GIGAスクール構想

小中学校の児童生徒全員へのパソコン配備と、学校に高速ネットワーク環境を整備する事業である。今年から数年間の予定だったが、コロナの関係で前倒しして実施することになった。

Q このパソコンは、家に持ち帰ってオンライン授業に使用できないか。

A 使用はできると聞いていますが、すべての家庭でWi-Fiの環境が必要となる。

対策が必要では

宮浦港の女文案

Q モニUMENT横に

放置自転車があるのを職員が片付けてくれた。置かないよう対策が必要ではないか。

A 今のところ放置自転車があれば撤



なんとかならないか

〔環境水道課〕
○8月8日～16日
エコTシャツアート展

いつでも「コロナが影響

Q エコTシャツアート展は毎年、一般の人が投票して優秀作品を選んでいますが、今年はどうしたのか。

A コロナの関係で前もって何人かの人をお願いして選んでもらい展示した。

経済・民生

小野 委員長

導入して良かった 電子カルテ

〔ふれあい診療所〕

(令和2年4月から7月)
○外来患者 3352人
○入院患者 309人
○時間外救急患者 140人

電子カルテ運用始まる

Q 電子カルテの運用はスムーズにいつているか。

A 皆で、どの方法が一番いいのか話しながら進めている。

〔住民福祉課〕

○6月10日・7月8日・

8月5日 民生・児童委員協議会

○6月18日・7月16日
出張年金相談

目立つところに看板を

Q 以前「なごみ」の看板をもっと目立つ所に移設してはとの意見があったが、どうなったか。

A まだ変わっていないが、もっと目立つ所にと検討している。

〔健康推進室〕

コロナが影響した

Q 特定健診の対象者数と受診者数は。

A 対象者が1074人で、260人が受診した。今年にはコロナの関係で受診者が減っている。

〔建設経済課〕

いつ頃設置されるの

あくまで予定だが、宮浦港の新しい浮桟橋は、令和2年11月頃。宮浦港浮桟橋の本村港移設は令和3年5月頃。

令和2年度

補正予算

一般会計

小中学生全員の学習用パソコンを整備する「IGAスクール構想」を実施するために、ネットワーク構築費用や端末購入費用などに36億13万円を追加し、予算総額は36億2998万円となりました。

特別会計

診療所事業特別会計

歳入歳出予算の総額それぞれに225万円追加し、予算総額は、2億9741万円となりました。

歳入の主なもの

● 国庫支出金 340万円追加

繰入金

● 繰入金 115万円減額

歳出の主なもの

● 歳出の主なもの 140万円追加

● 医療従事者慰労金

● 小学校費 1831万円追加

● 中学校費 1160万円追加

Q (山上) 小中それぞれの端末の購入台数は。

A (教育次長) 小学校が139台、中学校が64台である。



「議長らしく」を心掛けます

〔議長報告〕

去る8月20日付、町議会議長宛てに「直島未来ボックス」への投稿がありました。無記名ですので紙面での回答を、原文と併せて掲載させていただきます。

町民の一人として一言

新型コロナウイルスの流行で、色々な行事やイベントが中止となり、その中で今年の慰霊祭を万全の体制で開催していただいたことに感謝申し上げます。

町外からの来賓の方々が出席される中で、他の議員さんたちは出席されていたのに、去年に引き続き今年も議長の方はありませんでした。また町政の行事にもかかわらず、去年の運動会においても欠席されていたことに対しては、町民の代表として議長にまでなられた方の行動とは考えられずとても残念に思います。

また常日頃、役場に議長として来庁される場合につきましても、長靴に赤いシャツ・白緑の眼鏡をかけ軽率な服装等、とても常識のある方の行動には思えません。

そのように感じられている町民は多数おられることにとっても残念に思います。

時と場所を考え、もう少し自分の行動に責任をもつよう少し考え直していただきたいと思えます。

との内容です。

私からの回答を申し上げます。

まず、前半の慰霊祭及び運動会の件について、慰霊祭においては去年同様今年も出席させていただき、他のご来賓の方々にご挨拶申し上げ、献花もさせていただきます。

また、運動会においては一昨年は勝手ながら都合により参加できませんでしたが、ご指摘の昨年は参加させていただいております。

ですのでこの2件のご指摘は何かの間違いか、勘違いをされているように思いますので、ご理解いただきたいと思います。

後半の服装等については、ご指摘のとおり長靴にTシャツという服装でありました。私事の仕事の行き帰りの数十分だからという安易な考えからでした。

軽率な服装で常識ない行動であると、多くの町民の方が感じられているのご指摘、素直に反省いたしますとともに、今後はもう少し議長らしい服装・行動等に気を付けるよう心掛けます。

以上、お答えとさせていただきます。

工事請負契約

令和2年度直島港本村(マイナス5メートル)岸壁改修工事

- 契約方法
指名競争入札
- 契約金額
2億2963万円
- 契約の相手方
タチバナ工業株式会社
- 工期
町指定日から令和3年3月31日



長期に渡る工事

コロナ対策 観光業者等を支援

補正予算

国庫支出金3010万円を追加し、歳入歳出それぞれ35億9385万円となりました。

● 歳入の主なもの

● 感染症対策地方創生臨時交付金

● 3010万円追加

● 歳出の主なもの

● 事業継続応援資金給付事業

● 3000万円追加



困窮する観光事業店

Q

(西岡) 島に住所がないが、島内で営業

をしている事業者にも給付金は出るのか。

A

(まちづくり観光課長) 対象になる。

追跡

あれ、どんなやつとん!

このコーナーは、議員が以前に一般質問や委員会などで質問した問題が、その後どうなっているかを追跡してお知らせします。

「なごみ」の看板を目立つように

総合福祉センターのサロン「なごみ」の利用客が少ない。利用客を増やし売上げをアップさせるため、県道わきの目立つ場所に看板を移設してはどうか。(令和2年3月定例会 山下議員)

答 弁

いいことだと思つのでぜひ検討したい。

(小林町長)

経 過

3月定例会において町長から検討する旨の答弁があったが現在どうなっているか。(令和2年8月合同常任委員会 浜口議員)

答 弁

現場を確認し、設置の場所を検討している。現在は予算がないので、来年度設置の予定だ。(住民福祉課長)



もっと目立つ場所に

【お詫びと訂正】

前号192号の10ページに掲載された「あれ、どんなやつとん!」の内容に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

(誤) 平成元年11月19日 ↓ (正) 令和元年11月19日

臨時議会

7月20日、臨時議会を開催。新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、事業継続応援資金給付事業案を可決しました。「コロナ禍で困窮する、町内の観光関連事業者に一律30万円支援するものです。」



ともだち100人くらい できました～!



(Photo: 林ひろし)

福島 節さん、渚ちゃん、真希さん

今回は皆さんご存知の福島節さんご家族にご登場いただきました。

Q 福島さん、お忙しいところすみません。今日はおよろしくお願ひします。まずはじめに、いつ頃直島へ来られましたか。

節 2018年3月に妻と子どもが先に移住しました。妻は大学の頃から直島が大好きで何度も来ていたので、私の会社の社員旅行でも訪れました。

Q 直島への移住を決めたきっかけは。

真 娘のアトピーが直島旅行中にきれいに治ったことが決め手です。まっさきしおりさんの漫画等

がとても参考になり、島暮らしをイメージできたのも良かったです。移住するなら子育て中の今だと思い立ちました。

Q 東京から来てみて、いいところと不便なところは。

節 いいところは何と言っても自然の豊かさや人の温かさです。内気だった娘がどんどん開放的になり、今では海にどーんと飛び込んで泳ぎます。不便なところは特にありません。

島にいるとみんなが知り合いのようで寂しくないのでいいですよ。

Q 渚ちゃん、友だちはできましたか。

渚 100人くらいできました。学校やフラダンスにいます。島の人々、じーじやばーばが優しくしてくれて嬉しくて楽しいです。

Q 作った曲は何曲くらいありますか。

節 CMや映画、ドラマのための作曲はかなりの数で5000曲以上にな

りそうです。

Q 有名なCMソング等があると言いましたが、また将来の夢は。

節 日清どん兵衛「どんぎつねの歌」、明光義塾「YDKの歌」などが有名でしょうか。将来的には、音楽を通して直島を世界に発信していくのが夢です。「おやじの海」のような、みんなに愛される歌を作れたら最高ですね。

Q 将来の直島はこうなつてほしいとの思いはありますか。

節 まずは早く島の方々も観光客の皆さんも安心して過ごせるようになってほしいです。芸術においてこんなに素敵な島は世界中探してもないと思うので、それがこれからも続いていくこと、そして穏やかであったかい直島も続いてほしいです。

Q 最後に皆さんにメッ



セージをお願いします。

節 移住してからは、ニュースのエンディングに起用していただいたり、直島ホールでライブをさせていただいたりと、思ってもいなかった世界が広がりました。皆さんが優しく受け入れてくれたおかげです。素敵な島をこれからも歌や映像などで国内外に発信して恩返しをしていきたいと思しますので、よろしくお願ひ致します。

福島さん、本日は本当にありがとうございました。今後も直島ライフをしっかりと楽しんで直島をもっともっと好きになつてください。

編集後記

「悲観的に準備し、楽観的に対処せよ」今は亡き危機管理専門家佐々淳行氏の言葉、戒め。最悪の事態を想定して備えを怠らず、いざ非常時にはことさら先行きを悲観せず、冷静に行動せよ。という旨の言葉。

また、中学校だより9月号の「心の目標」に「勇気を持って人に親切にしよう」とあった。

意味合いは違いますが2つの言葉、現在のコロナ禍どちらも強く心に響くものがある。人の心を思い、地域の平安を願ひ、できるかぎりの対策・備えをすることが町民に選ばれた、我々議員や為政者の義務であり使命であると考えます。

(井下 記)

広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 井下 良雄 |
| 委員長 | 山下 玲子 |
| 副委員長 | 小野 孝一 |
| 委員 | 山上 英一 |
| 〃 | 西岡裕喜広 |
| 〃 | 中根 清孝 |
| 〃 | 宮原 三郎 |
| 〃 | 浜口 敏夫 |